

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	鉄筋コンクリート構造及び演習						
科目区分	専門科目	単位数	3単位	開講時期	2年時前期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／必修科目(建築コース)／—(デザインコース)						
担当者	奥野 賢二						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートおよび鉄筋の基本的な応力度計算ができる。 ・想定した応力に対して柱及び梁の断面設計ができる。 						
日程と内容	<p>第1回 4月9日 : 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法</p> <p>第2回 4月16日 : RC構造の基礎</p> <p>第3回 4月23日 : 圧縮力を受ける鉄筋コンクリートの応力</p> <p>第4回 4月30日 : 鉄筋コンクリート梁の設計-1</p> <p>第5回 5月7日 : 鉄筋コンクリート梁の設計-2</p> <p>第6回 5月14日 : 鉄筋コンクリート梁の設計-3</p> <p>第7回 5月21日 : 鉄筋コンクリート梁の設計-4</p> <p>第8回 5月28日 : 鉄筋コンクリート柱の設計-1</p> <p>第9回 6月4日 : 鉄筋コンクリート柱の設計-2</p> <p>第10回 6月11日 : 鉄筋コンクリート柱の設計-3</p> <p>第11回 6月18日 : 鉄筋コンクリート柱の設計-4</p> <p>第12回 6月25日 : 図表を利用した柱の設計</p> <p>第13回 7月2日 : せん断設計-1</p> <p>第14回 7月9日 : せん断設計-2</p> <p>第15回 7月16日 : 演習まとめ</p> <p>第16回 7月23日 : 定期試験(90分)</p> <p>注: 試験範囲は第1回から第15回までの授業総てとする。</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	40%					
授業到達目標の達成度	応力の作用する柱及び梁の応力度の計算方法及びその断面設計方法については概ね達成できたと思われる。						
反省点	基礎的な力学に対する理解が不足していると思われるので、部材の設計に必要な材料力学、構造力学に関する説明を行う必要がある。						
来年度の計画	来年度も演習問題の解説を行う事が必要であるが、鉄筋の納まり等の施工に関する説明も加えたい。また、随所に荷重及び応力についての解説も加えたい。						
授業評価アンケートに対するコメント							
履修登録者数	113名	定期試験受験者数	107名	合格者数	76名	合格率	71%